

令和6年度『特色ある学校づくり推進事業』実践事例報告

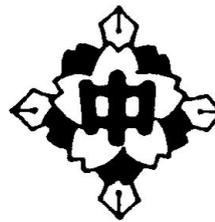
佐世保市立柚木中学校

佐世保市柚木町2063番地

校長 久保 寛人

生徒数 86名

学級数 4学級



1 学校努力目標と重点努力事項

本校教育目標『心豊かで 自ら学ぶ たくましい生徒の育成』の具現化を目的とする。

- (1) 生きて働く学力の向上
- (2) 開発的生徒指導の充実
- (3) 「人間力」や「人と関わる力」の育成
- (4) 人権教育の充実
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 健康で安全安心な生活の推進

2 特色ある学校づくり推進事業の目的

学校教育目標の具現化を目指し、重点努力事項を手立てとして、今年度は以下の目的で特色ある学校づくりに取り組みました。

- (1) 生きて働く学力の向上
 - 学習規律の徹底 ○校内研修の充実
 - 主体的な家庭学習と「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の両輪で個に応じた学力向上を目指す
- (2) 開発的生徒指導の充実
 - 学級会活動の充実 ○生徒会活動の活性化 ○「正しく生きる力」を育む
 - 「校則見直し」等の取組を通して、主体的に考え、適切に対応する力を養う
- (3) 「人間力」や「人と関わる力」の育成
 - 命の教育、「自己をみつめなおす」機会を大事にする
 - 様々な場面で協働・協力する姿勢など「人と関わる力」を育成する
 - 心のこもった「あいさつ」の奨励
- (4) 人権教育の充実
 - 正しい人権意識を育てる ○差別を決して許さない心を育てる
 - 自他共に認める心や恒久平和を大切にする姿勢を育む
- (5) 特別支援教育の充実
 - 個に応じた支援・指導の充実 ○関係機関との連携 ○インクルーシブ教育の推進
- (6) 健康で安全安心な生活の推進
 - 規則正しい生活リズムの推進 ○学校内外の安全指導の徹底
 - 運動に親しませ、健康でたくましい心身の育成を図る
 - 芸術体験・合唱発表会等を通して感性を磨く

3 本校の伝統

柚木精神『校門の第一歩は学習の第一歩』を受け継ぎ、登下校の折に校門前で足を止め、校舎に向かって一礼をしています。『校風を受け継いでいこう』と生徒会活動の一環として行われているものです。柚木地区大運動会への参加や柚木ふれあいまつりでの合唱やボランティア活動に積極的に参加し、社会性や奉仕の精神を育む取り組みを行っています。

このように、恵まれた自然環境と地域環境を学校教育に取り入れ、地域と一体となって心身共にたくましい生徒の育成に取り組んでいます。



【柚木中精神の石碑】



【弘済会「学校・園花いっぱい支援事業」球根植付作業】

4 実践内容

(1) 生きて働く学力の向上

①校内研修の充実、「授業改善」研究実践の取組

今年度は、「主体的に自分の考えを形成し、表現する力の育成～授業改善と家庭学習の推進を図る取組を通して～」を研究テーマに掲げ、研究を進めました。下記に示す、全教科共通の実践事項を作成し、日々の授業実践を行いました。また、全教員による年に最低一度の公開授業と授業研究会を実施し、生徒の学力向上に努めました。11月と1月に外部から講師を招聘し、全職員へ授業改善のために、指導助言をいただきました。徐々に生徒の学力が向上しています。

○ 主体的な学び

- ① 「めあて」を提示し、生徒に見通しを持たせて学習に取り組ませ、「まとめ」を行う。
- ② 生徒の主体的な家庭学習の充実を図る。（生活ノート日課表の取組）
- ③ ICT機器の活用。

○ 対話的な学び

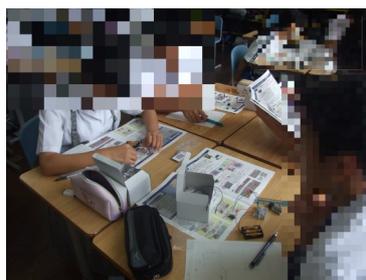
- ① グループ学習を継続して行う。
- ② 生徒同士が言葉でつながる場（学び合い、高め合う場）を設定し、学習を深める。

○ 深い学び

- ① 自己の考えを表現は、「書く」「まとめる」「発表」の形で行う。
- ② 自己の考えの表現は、根拠を明確にする。



【1年生理科】



【2年生技術家庭】



【3年生国語】

②標準学力調査の実施

1月に1・2年生を対象とし実施した。各生徒が、どの分野を理解し、どの分野が理解できていないのか、また、集団としてどういう傾向があるのかを年度末にしっかり分析し、身につけていない部分をきちんと定着させて次の学年に進級させることを目的として実施しました。

(2) 開発的生徒指導の充実

①服装規定見直しのための試行期間の設定

生徒も教員も、「中学生の服装はこうであるべき」という固定観念を一旦捨て、「学びの場にふさわしい服装とは何か？」について、柔軟に考えていくために、期間中は現在の服装規定に関係なく、生徒が自身の判断で服装を考えて登校する服装規定見直しのための試行期間を7月4日～7月10日までの1週間、設定しました。



②「校則見直し」の取組

上記①の取組後、生徒、保護者、教職員を対象に「服装規定を一時的に無くしたことでどんな感じがしたか?」「現状の服装規定で変更した方がよいところはどんなところか?」「新たに付け加えた方がよいきまりはあるか?」等についてアンケートを実施しました。さらに、生徒自身に校則の見直しについて考える学級会の場を設定した。各学級からでた意見を生徒会で協議し、職員と話し合いながら、根拠のない校則については変更するなど、校則を見直しました。

(3) 「人間力」や「人と関わる力」の育成

① いのちを見つめる日(校長講話)

20年前に起こった市内の事件を踏まえ、自分の命も他人の命も大切であることを再確認しました。



②地域行事への参加

8月4日ビーチバレーボール大会、11月10日柚木ふれあいまつり、12月1日柚木ゆかしめぐり、12月8日凧作り講習会、2月2日柚木地区凧揚げ大会等、地域の行事に参加しました。「中学生が一生懸命がんばる姿から元気もらいます」と地域の方からたくさんの言葉をいただきました。

③新日本フィルハーモニー交響楽団によるスクールコンサート

11月4日文化庁学校巡回公演事業として新日本フィルハーモニー交響楽団によるスクールコンサートを実施しました。プロの方による演奏は大変迫力があり、感動しました。代表生徒による指揮者体験等もありました。地域の方もたくさん参加していただき、生徒にとっても、大人にとっても大変有意義な時間になりました。



④町探検【1年】

総合的な学習の時間に町探検を行いました。柚木地区に鉄道があったことや炭鉱があったことなど柚木地区の歴史について学びを深めました。西光寺の住職に講話をしていただきました。

⑤職場体験学習【2年】

地域の各職場において見学や働く体験学習をさせていただきました。今年度は14事業所に生徒を受け入れていただきました。各職業について学ぶことで、豊かな感性や創造性、自立心等を育むことができました。また、進路や将来の生活のあり方について考えるよい機会となりました。さらに、お礼状を書くことでお世話になった方々への感謝の気持ちを伝える心を育むことができました。



⑥伝統文化体験学習【3年生】

講師の先生方2名をお招きし、中学3年生を対象に、茶道教室を実施しました。茶花やお茶碗の鑑賞、おもてなしの心、所作などを学ぶことで日本独自の文化の継承の大切さについて学びました。



【伝統文化体験学習 茶道教室】

(4) 人権教育の充実

6月27日に6. 29平和集会を行いました。講師をお招きし、佐世保空襲の状況について講話していただきました。8月9日には、8. 9平和集会を行い、11時2分に黙とうをささげました。12月の人権週間に合わせて、人権学習を行いました。今年度は、教師10名がそれぞれ講座を開設し、全校生徒が分かれて学習しました。学習したことを学級に戻って生徒の言葉で発信し、さらにまとめたことを掲示板に掲示し、学習内容を共有しました。



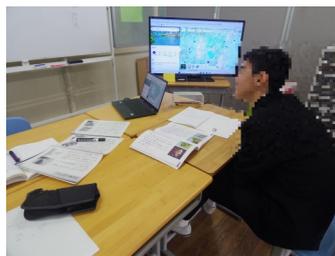
【講座の1コマ 少人数指導】

(5) 特別支援教育の充実

個に応じた支援・指導の充実を図るため、本人・保護者と十分協議し、生活に必要な学習を中心に授業を実施しました。技能教科（音楽・美術・技術家庭・保健体育・道徳・学活・総合的な学習）では、通常学級の生徒と一緒に、交流で授業を行いました。



【理科：豆電球を用いた実験の様子】



【国語：地図を見ながら文章を読み取る】

(6) 健康で安全安心な生活の推進

10月29日に講師をお迎えし、ヨガ教室を行いました。スマートフォンや1人1台端末など情報機器を使う機会が増え、姿勢改善について考えるきっかけとなればと学校保健委員会で方向性を定め、今回の実施に至りました。保護者の方も数名参加され、姿勢について考えることができました。職員を対象としたエピペン研修や生徒を対象としたAED講習会も行いました。



【AED講習会】



【ヨガ教室】

5 まとめ

本校の教育目標「心豊かで 自ら学ぶ たくましい生徒の育成」を具現化するために、様々なことに取り組んできました。ただ、まだまだ改善しなければならないことは多々あります。皆様のお力添えをいただき、よりよい学校づくりを目指していきたいと思っております。